【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第５区分
【発行日】平成22年11月11日(2010.11.11)

【公開番号】特開2009-107392(P2009-107392A)
【公開日】平成21年5月21日(2009.5.21)
【年通号数】公開・登録公報2009-020
【出願番号】特願2007-279015(P2007-279015)
【国際特許分類】
Ｂ６２Ｄ　5/04　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　1/16　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　57/02　(2006.01)
Ｆ１６Ｆ　1/36　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６２Ｄ　5/04
Ｆ１６Ｈ　1/16　Ｚ
Ｆ１６Ｈ　57/02　３０２Ｆ
Ｆ１６Ｆ　1/36　Ｙ

【手続補正書】
【提出日】平成22年8月26日(2010.8.26)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
上記回転軸２は、ハウジング３の内側に回転自在に支持しており、この部分にウォームホイール４を固定している。そして、このウォームホイール４とウォーム５とによりウォーム式の減速機６を構成し、上記電動モータ１の出力軸７のトルクを、上記回転軸２に伝達する様にしている。上記ウォーム５を構成し、軸方向中間部外周面にウォーム歯８を設けたウォーム軸９の基端部（図９の左端部）は上記出力軸７の先端部（図９の右端部）に、セレーション係合等の非円形嵌合により、トルクの伝達を可能に結合している。又、上記ウォーム軸９の両端部は、それぞれが単列深溝型玉軸受等の、基端側、先端側両ラジアル転がり軸受１０、１１により、上記ハウジング３内に回転自在に、且つ、基端側を中心とする若干の揺動変位を可能に支持されている。この揺動変位を可能にする為に、上記基端側ラジアル転がり軸受１０に、正の内部隙間を設けている。